

お知らせ

合併が正式決定

合併に伴う法的手続がすべて整い、高崎市、倉渕村、箕郷町、群馬町及び新町が来年1月23日に合併して、新「高崎市」が誕生することが正式に決定しました。

現在、新「高崎市」誕生に向けて住民生活に支障のないよう上下水道事業の各種事務事業を最終調整しています。

問い合わせ先・・・上下水道事業 総務課（電話321-1282）

メーター検針にご協力を

水道局では2か月に1度、メーターの検針を行っています。検針をすることで使用水量を計り料金を算定するだけでなく、ふだん気が付かない水漏れを発見することもできます。いつも見やすく、正しく検針ができるようにご協力ください。

- ・メーターボックスの上に物(車など)を置かない。
- ・犬は出入り口やメーターボックスから離してつなく。
- ・メーターボックスの中はいつもきれいに。

問い合わせ先・・・水道局料金課（電話321-1283）

都市型水害対策を推進します

昨年は福井豪雨や新潟豪雨、また観測史上初である10個もの台風が日本に上陸するなど、全国で集中豪雨等による浸水被害が多発しました。近年の都市化の進展により、土地がアスファルト等で覆われ、雨水が地中にしみ込みにくくなっています。短時間に大量の雨が降ると雨水が水路等に一気に流れ込み、排水することができず、あふれてしまう状態、いわゆる都市型水害が社会的な問題になっています。



倉賀野地区に埋設されている大人でも立つことのできる巨大な雨水幹線 直径2.8m

こうした被害を未然に防ぐ対策が求められているなかで、高崎市では浸水被害が多発している地区や、地形的にも排水しにくい箇所などから順次工事に着手し、都市型水害対策に取り組んでいます。

写真のような雨水を排水するための管の埋設工事なども計画的に進めています。

問い合わせ先・・・下水道局雨水対策課（321-1263）



さる9月10日（土）、下水道事業の普及促進活動であるイベント「下水道の日」を阿久津水処理センターで開催しました。

当日は、好天にも恵まれ多くの市民の方が、日ごろあまり目にする事の出来ない下水道施設の見学など、さまざまな催し物に参加しました。また、ゲームコーナーや水質試験の体験コーナー、テレビのヒーローキャラクターとの写真撮影などでは、子供たちが楽しく遊び、歓声を上げていました。



防寒対策はお早めに

寒さが厳しくなると、水道管内の水が凍ってしまい、水が出ないことや水道管が破裂することがあります。水道管にも防寒対策をお願いします。

- ・水道管の防寒対策

露出している水道管や蛇口など凍りやすい箇所を保温材（布・毛布など）で包んでぬれないようにビニールテープなどで巻いてください。

- ・水道管が凍って水が出ないとき
蛇口を開いた状態で、水道管にタオルや布をかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてください。熱湯をかけると水道管が破裂することがありますので、絶対にしないでください。急ぎでない場合は自然に溶けるまで待ちましょう。
- ・水道管が破裂したとき
メーターボックス内の止水栓を閉めてから、宅内の水道工事をした業者、または高崎市指定の水道工事店（下段参照）に修理を依頼してください。

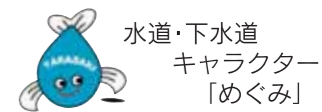
問い合わせ先・・・水道局給水課（321-1285）

高崎市指定の水道工事店については、本広報紙第8号「高崎市指定給水装置工事事業者及び下水道排水設備指定工事店一覧表」、または上下水道事業 総務課ホームページをご覧ください。

水のめぐみ

水道・下水道だより

第11号 平成17年11月15日



緩速ろ過方式で水を浄化している若田浄水場

緩速ろ過とは

水を1日4～5mのゆっくりとした速度で細かな砂の層に通し、砂の層に繁殖した微生物群や藻の働きによりろ過する浄水方式で、自然の浄化能力を利用し凝集剤を使わないで、おいしい水を作ることができます。この方式は、一般的に河川などから取水した水の水質が良好で濁りの程度が低く安定している場合に採用されます。安定した良質の水道水を得られますが、ろ過速度が遅く時間がかかるため広い浄水場の敷地が必要なこと、また定期的な砂の削り取り作業が必要になります。

高崎市では、若田浄水場と剣崎浄水場でこの方式を採用しています。

給水人口	247,967人	平成17年 9月30日現在
給水戸数	101,074戸	
水洗化人口	199,183人	
水洗化戸数	81,766戸	

編集・発行 高崎市上下水道事業 総務課
(年4回発行) 高崎市高松町35番地1
TEL.027-321-1282

ホームページ <http://www.city.takasaki.gunma.jp/sosiki/sg-soumu/index.htm>